

## 草の根技術協力（支援型）事業提案書要約

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	ホンジュラス共和国
2. 事業名	エコミュージアム構想による市民参加型まちおこし支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	コパンルイナス市には世界遺産「コパンのマヤ遺跡」が存在するが、住民が一般にその観光資源を活用して裨益しているわけではない。また市内には多様な文化・自然資源が存在しているにも関わらず、世界遺産以外は、ほとんど活用されていない。住民たちが、身近に存在する多種多様な観光資源を有効活用する「まちおこし」を通して自分たちの生活向上につながる仕組みを作ることが求められている。
4. プロジェクト目標	コパンルイナス市において、地域の多様な文化・自然資源を活用する「まちおこし」を通して、地域住民の生活向上につながる新たな観光開発の仕組みが構築される。
5. 対象地域	コパンルイナス市
6. 対象地域を管轄する在外公館	在ホンジュラス日本国大使館
7. 受益者層	観光関連業に携わりたい住民層を中心にコパンルイナス市民 41,684 人
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <p>1. コパンルイナス市民の参加により、地域の埋もれた文化・自然資源が再発見され、新しい観光資源マップが作成される。</p> <p>2. 町全体を一つのエコミュージアム（まちごと博物館）として活用する構想を理解し、持続可能な形で活動してくれる住民グループができる。</p> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>1-1. コパンルイナス市周辺の埋もれた文化・自然資源の調査、掘り起こし</p> <p>1-2. コパンルイナス市の新たな観光資源マップの作成</p> <p>2-1. エコミュージアム（まちごと博物館）構想についての事前研修</p> <p>2-2. 持続的にプロジェクト活動に参加・協力してくれる地域住民の募集</p> <p>2-3. エコミュージアム構想を定着させるためのイベントやセミナーの実施</p> <p>2-4. 市民参加協力の一環としての公立小松大学学生および小松市民のプロジェクトへの参加、コパンルイナス住民との交流による事業推進</p>
9. 実施期間	（西暦） 2024 年 4 月～2026 年 3 月（2 年 0 ヶ月）
10. 事業費概算額	9,999 千円
11. 相手国側実施機関	コパンルイナス市役所
<b>II. 提案団体の概要</b>	
1. 団体名／指定団体名	公立大学法人公立小松大学
2. 主な活動内容	小松市を設立団体とする公立大学。2018 年に設立され、研究、教育、社会貢献を主要活動とする。学生数 1,036人、専任教職員数 128人。